

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和4年度 第3回 松川町文化財保護審議委員会

2 開催日時

令和4年 12月 19日(月) 9時30分から11時まで

3 開催場所

松川中央公民館 1F 会議室

4 出席者氏名

文化財保護審議委員

小椋吉範 宮下稔 山本晃永 中村美幸

事務局

資料館長:福島俊美 生涯学習課長:高根竜二

文教施設係長:矢沢秀子 主事:伊坪達郎 米山梓

5 協議事項

池の平湿地帯 現状変更許可申請について

6 報告事項

(1)松川町指定文化財(部奈ミソベタ層)答申について

(2)ツツザキヤマジノギク保全協議会の活動について

(3)北垣外遺跡発掘調査状況について

(4)その他 委員から

7 傍聴人の数

なし

8 会議資料の名称

令和4年 第3回 松川町文化財保護審議委員会 資料

9 審議の概要

【現地視察:池の平湿地帯】9:30～

【会議】10:30～

- (1) 松川町指定文化財(部奈ミソベタ層)答申について
- (2) ツツザキヤマジノギク保全協議会の活動について
- (3) 北垣外遺跡発掘調査状況について
- (4) その他 委員から・・・指定文化財 華厳寺の木造毘沙門天立像について

◎協議 池の平湿地帯現状変更許可申請について(現地にて)

事務局から説明(現状変更の範囲・内容等について)

委員 A:現状の水路(堤への取水口付近)はどのようになるのか。

事務局:コンクリート製の柵が入り、整備される予定である。

委員 B:新しい道路の法面はどうするのか。

事務局:ムシロ張りとなる。

委員 B:ムシロ張りというと緑化はするのか。(植生シート等)

事務局:外来植物の発生例が多いため最近では緑化施工しない。ムシロのみの工法となるケースが多い。

委員 A:指定当時とは湿地帯の状況が大きく変わっている。かつてはミズゴケなどの植物やアオイ トンボなどの貴重な昆虫が生息していたが、現在はわからない。

事務局:今年度3月の審議会では池の平湿地帯の保全の在り方等について協議したいと考えている。また雪のない時期に現地視察を行いたい。

委員 A:植生の調査をするなら5月頃がよい。

事務局:そのように開催を検討する。

事務局:この度提出のあった現状変更申請について、現状変更を許可してよいか。

委員(全員):工事による湿地帯への影響は軽微であるため許可してよい。

◎報告・その他

- (1) 松川町指定文化財(部奈ミソベタ層)答申について
- (2) ツツザキヤマジノギク保全協議会の活動について
- (3) 北垣外遺跡発掘調査状況について
- (4) その他 委員から・・・指定文化財 華厳寺の木造毘沙門天立像について

事務局から説明

①広報について

委員 C:遺跡の説明会を実施したり、池の平湿地帯のような活用できる場所多くあったりすることはとても良いことだと思う。子どもへの良い学習の場になる。

しかし、これらを町民に対してどのように発信しているか？どう発信していくかが重要だと思う。チャンネルユーメインで広報していると思うが、チャンネルユーに加入していない知り合いも多い。そのような人たちにも情報が届くように SNS を活用するなど、小中学生のいる家庭へも周知していく方法を考えるべきだ。面的に横に広がっていくようにする必要があるのではないか。

事務局:チャンネルユー以外にも広報の方法を検討していく。

委員 B:委員 C に同感である。現在インターネットを使った広報はしているか。

事務局:町のホームページでも周知している。

委員 C:町のホームページは目的のページにたどり着くのが難しく、入って行きにくい。Facebookなどを活用して、興味ある個人にリンクを張って拡散してもらうなどできればいい。

事務局:イベントごと幅広く発信できるよう工夫していく。

②池の平湿地帯について

委員 B:池の平湿地帯について、「春蘭」の会の人詳しい。話を聞ける機会をつくってほしい。

事務局:現在連絡を試みている。次回の審議会と一緒に話を聞けるようにしたい。

③華厳寺の木造毘沙門天立像について

委員 D:木造毘沙門天立像をまつる華厳寺は現在無人で、防犯面からも心配であるため資料館にこの仏像を寄託できないか。

事務局：檀家や本山とのかかわりもあると思うのでよく検討させてほしい。また、貴重な文化財であるため、預かるとしても運搬や管理が適切にできるかどうかも課題である。資料館への寄託がよいのか、別のいい方法があるのか、意見をもらいながら検討していきたい。

委員 D：現在は町内の寺が住職を兼務しているが、今後町外の寺に管理が移ると寺の統廃合の話も出てくる可能性がある。万が一廃寺になった場合には仏像は本山である延暦寺の持ち物になるのでその前に方向性を考える必要がある。

事務局：現在資料館では収蔵庫の温湿度管理ができていないこともあり、適切な管理ができる状態ではないのが現状である。また、来年度は図書館・資料館の大規模改修がある。少なくともその間は預かることが難しいため、今後少し時間をかけてしっかりと協議し検討させていただきたい。

以上